

# 令和2年度 事業報告

社会福祉法人上牧町社会福祉協議会

今年度は平成27年度に策定した第2次上牧町地域福祉活動計画(平成28～32年度)の最終年として、計画の基本理念「人と人が手を取り合って支えあう福祉のまちづくり」の実現を目指して住民、ボランティア、NPO、福祉関係諸団体、行政等とのネットワークを活用した地域福祉活動を推進するとともに、第3次上牧町地域福祉活動計画を行政計画と一体的に策定するため上牧町福祉課と共同事務局を設置し取り組みました。

令和元年度末から続く新型コロナウイルスによる感染症予防の観点や年度当初の緊急事態宣言の発令による公共施設の利用停止などの影響もあり、介護保険事業等直接介護サービスを除く各種事業の休止や縮小を行いました。

## 事業報告

### 基本目標Ⅰ 地域で顔の見える関係づくり

#### ■ 1. 地域での顔の見える関係づくり

(1) 自治会区を基盤とした小地域ネットワークの拡充	
①	小地域ネットワークの組織化 ・小地域ネットワークの組織化支援
②	小地域ネットワークの充実 ・小地域ネットワーク連絡会の開催 月1回ネットワーク連絡会の開催ネットワーク連絡会研修の開催。 ※新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年3月から5月まで休止。  ・各地域の中で見えてきた課題の共有 各小地域ネットワークの活動や企画会議に職員派遣。 夏休み宿題サロンについては新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止。 上牧町地域福祉計画・活動計画の策定に係る住民座談会の開催(5地区) ・研修会(新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止)
(2) 支え合い活動の充実	
①	地域にあった活動づくり ・サロン等の居場所づくり 小地域ネットワークによるサロン活動。町内14地区で活動する小地域ネットワークで高齢者に限らず多世代が参加できるサロンを新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら開催。 新型コロナウイルス感染症の影響により地区の公民館の利用が出来ないなど各ネットワークで取組の中止や休止が相次ぎましたがコロナ禍だからこそ小地域ネットワークが取り組める活動について、各小地域ネットワークで情報を共有しました。

滝川台小地域ネットワーク:地区の子どもへの折り紙とアンケートの配布  
さくらんぼ:防護服づくり活動(下牧、アーバン、滝川台等他の地区との協働へ)  
クッキーとメッセージの地区内全戸への配布

(その他は別紙資料参照)

- ・つどいの広場事業に受託実施等による子育て世代が集える居場所づくり。  
※緊急事態宣言の発令により令和2年2月末から5月まで休止。6月より再開。

(サロンぽけっと 116回 1,624名参加  
アピタサロン(乳児対象) 39回 354名参加  
親子教室 24回 468名参加 託児 18件)

- ・障害を持つ人の仲間づくり  
身体障害者福祉協会との交流 歩こう会(中止)  
身体障害者福祉協会との交流(中止)  
ぷらっと交流会(新型コロナウイルス感染症予防の観点から屋内型で例年より回数を増やして実施 計8回)

## ②災害にも強いまちづくり

- ・災害時対応訓練の実施  
災害ボランティアセンター設置運営訓練の開催。  
新型コロナウイルス感染症予防の観点から従来型の訓練は中止し、王寺町文化福祉センターを会場に開催された北葛城郡社会福祉協議会主催による郡内社協職員及び行政担当者による訓練に参加。

## 基本目標Ⅱ だれもが地域に参加できる仕組みづくり

### ■ 2. だれもが地域に参加できる仕組みづくり

#### (1) 多様な参加の機会づくり

##### ①多様な人々のつどえる場づくり

- ・当事者の社会参加を通じた理解の促進  
ぷらっとを通じた障害理解の促進を目的に温泉施設、片岡台3丁目での出張販売の実施。  
(出張販売:毎週金曜日虹の湯 隔週火曜日片岡台3丁目)  
ぷらっとメンバーによる配食サービス弁当の配達。  
(月水金の夕食 延べ利用登録者 13名 1,460食)
- ・子どもの居場所づくり  
奈良県子どものこころと学びの支援事業を受託し、毎週土曜日に2000年会館において子どもの居場所づくり事業「きらっと」を開催。生活困窮や家庭環境など様々な暮らしにくさを抱える子どもに対して簡単な学習と遊び、軽食を提供。  
※新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年3月から5月まで休止。  
6月から再開するも夜の部は中止し土曜日の午後に変更。食事は年間を通して中止し、菓子パンやお握りなどを配布する方式に変更。  
(きらっと:34回 延べ 194名利用 ボランティア延べ 40名  
小学生 8名、中学生 2名 計 10名  
午後の部:34回 延べ 53名利用 ボランティア延べ 25名)

	<p style="text-align: center;">小学生1名、高校生2名 計3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり家族への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>アピタささゆりルームを会場に家族のひきこもりに悩む家族がつどい、悩みを語り合うことで問題を一人で抱え込まず他者に相談したり互いに助け合えるような機会を提供することでひきこもり問題への支援につなげる。</li> <li>ひきこもりの問題は地元では相談しにくいとの声も多くあることから香芝市社会福祉協議会とそれぞれの家族のつどいへの相互乗入れや互いに広報し合うなどの連携を行った。</li> <li>年度途中からは、ひきこもり当事者のつどいを同時開催し、家族での参加などひきこもり当事者もつどえる環境を整備。</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年3月から5月まで休止。</li> <li>新型コロナウイルス感染症予防の観点から会場を障害者福祉センターに変更して令和2年6月より再開。</li> <li>コーディネーター:湯浅龍氏(臨床心理士)</li> <li>6月11日から月1回のペースで計10回開催。</li> <li>参加者延べ 54名参加</li> <li>ひきこもり当事者 11名(令和2年8月から3月まで計9回開催)</li> </ul> </li> </ul>
(2) 学びの機会づくり	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学童期を対象とした福祉教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育プログラムの提供</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響で中止</li> </ul> </li> <li>②活動のきっかけへと結びつく学習会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな担い手の発掘を目的とした連続講座「かんまきタウンカレッジ」を開催。</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響で中止</li> <li>・ボランティア講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>手話入門講座の受託実施(21回 延べ113名参加 修了者6名)</li> </ul> </li> <li>・社協まつりの開催</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響で中止</li> </ul> </li> </ul>
(3) 地域活動者への支援	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ボランティア活動支援の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町ボランティア連絡協議会及び加盟団体への活動助成の実施。 (共同募金配分金による助成 6団体 170,000円)</li> <li>・スキルアップ講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響で中止</li> </ul> </li> <li>・ちょボラ等の情報発信の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>編集委員会によるボランティア情報誌の編集と発行(年2回)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>②活動者のつながり支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・上牧町ボランティア連絡協議会への活動支援。</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年3月から5月まで休止。</li> <li>令和2年8月から再開し、計4回開催</li> </ul> </li> </ul>

## 基本目標Ⅲ 暮らしの課題を受け止める相談体制の強化

### ■ 3. 暮らしの課題を受け止める相談体制の強化

(1) ニーズ把握の充実	
① 地域を基盤としたニーズ発見の仕組みづくり	・小地域ネットワーク等と連携したニーズキャッチ 各小地域ネットワークへの職員派遣と世話人会でのニーズ把握の実施
② 課題を漏らさず受け止める体制づくり	・総合相談機能の強化 コミュニティソーシャルワーカー研修、生活支援コーディネーター研修への参加。 ・サービス調整会議の開催による社協内連携(月1回開催)
(2) 関係機関の連携強化	
① 関係機関との協議の場づくり	・関係機関との連携 庁内連携開始への参加(2回) 子育て調整会議への参加(令和2年8月から毎月1回 計8回) 地域福祉計画・活動計画策定に係る共同事務局の設置

### ■ 4. その他の事業

(1) 会務の運営	
① 理事・評議員会の開催	・理事・評議員会の開催 理事会2回(令和2年5月 書面決議、令和3年3月2日) 評議員会2回(令和2年6月 書面決議、令和3年3月24日)
② 監査の実施	・会計、事業監査の開催 年4回
(2) 介護事業等の実施	
① 介護保険事業等の実施	・訪問介護事業の実施 (身体介護 1,232回 860時間13分 身体生活 614回 828時間49分 生活援助 689回 641時間02分 介護予防 524回 423時間54分) ・居宅介護支援事業の実施 (ケアプラン作成646件 予防プラン作成304件 認定調査40件)
② 障害福祉サービスの実施	・居宅介護等の実施 障害児者への訪問介護事業の実施。

(居宅介護:241回 275.5時間 重度訪問介護:268回 918時間  
 同行援護:76回 198時間 身体介護:52回 71時間  
 通院介助:8回 16時間 合計:645回 1,478.5時間)

- ・移動支援事業の受託実施  
 障害児者への余暇活動等社会参加のための移動支援。(153回181.5時間)
- ・地域相談支援事業の実施  
 障害福祉サービスの計画作成とモニタリング。(22名 延べ50件)
- ・就労継続支援事業B型の実施 カフェぷらっと等の運営。

利用登録者	10名(知的障害者8名、精神障害者2名)
通所者数	延べ1,675名(一日平均6.4名)
営業日数	263日 (一日あたり売上約7,958円)

③その他

- ・有償福祉サービス ひっころの実施  
 10名 延べ268時間20分の訪問
- ・理髪サービス事業の受託実施 (5名、10回)
- ・日常生活用具の貸与事業の実施  
 介護保険非該当者等への車いす等の貸し出し。  
 (車いす 7回)
- ・地域福祉権利擁護事業の実施  
 利用者 4名(新規契約2名、1名は成年後見制度へ移行 年度末3名)  
 契約前訪問支援 9回  
 延べ支援回数 15回 延べ支援時間 21.5時間
- ・生活福祉資金貸付事業の実施  
 (相談30件  
 貸付数件11件:  
 総合支援資金2件、教育資金1件、福祉費5件、緊急小口資金3件)  
 コロナ特例貸付 相談961件 貸付439件(実人数156名) 約1.7億円
- ・フードレスキューの実施 延べ19件

(3) 募金活動及び団体事務

①募金活動の実施

- ・共同募金活動の実施  
 自治会戸別募金、大口募金(郁慈会、奈良友誼会病院、上牧町商工会)、街頭募金(10月1日:おくやま)、学校募金(町内小中学校)、募金箱、自販機  
 合計1,470,517円
- ・日赤社資募金の実施  
 自治会戸別募金(2,101,400円)

②団体事務の実施

- ・団体事務の実施  
 共同募金会、日本赤十字社、上牧町遺族会、身体障害者協議会

(4) その他

① 指定管理事業

- ・2000年会館の管理
- ・障害者福祉センターの管理
- ・ほほ笑みサロンの管理

② 広報事業

- ・広報による社協活動の周知  
社協だよりの発行(年2回 10月、1月発行)  
ホームページによる迅速な事業報告及び情報公開  
(法人現況報告書、事業計画及び予算、事業報告及び決算、社協だよりを掲載)

# 令和2年度 決算書



# 令和2年度 決算概要

# 令和2年度 決算計算書類